

会 議 録

会議名	第 11 回日野市地域公共交通会議	
日時	平成 23 年 3 月 23 日（水）14:30 から 15:40 まで	
会場	日野市役所本庁舎 101 会議室	
出席者	委員	別紙のとおり
	事務局	都市計画課 多田課長、小俣係長、大野主査、谷口主事
	コンサル	セントラルコンサルタント 水澤氏、沼賀氏
議題	<p>議事</p> <p>(1) 平成 22 年度事業のまとめについて（報告事項）</p> <p>(2) 平成 23 年度事業計画（案）について（協議事項）</p> <p>(3) 平成 22 年度補正予算（案）について（協議事項）</p> <p>(4) 平成 23 年度予算（案）について（協議事項）</p>	
公開・非公開の別	公開	
傍聴人の数	0 名	

1. 開会

2. あいさつ（谷井会長）

前回の交通会議において、委員より質問のあった豊田駅北口乗り継ぎ用降車バス停の有効幅員について、その後の経過について事務局より報告するよう求めがあった。

事務局より報告

人事異動などに伴う委員の変更の報告

日野市まちづくり部長 大坪冬彦

警視庁日野警察署交通課長 谷口信二 様

会長より報告を求められた豊田駅北口について

前回会議以降、会長と事務局とで現地を立会いし、改善点を確認した。

その後、事務局と運行事業者である京王電鉄バス㈱と立会いをし、

実施に向けて京王電鉄バス㈱社内にて調整中である。

3. 議事

(1) 平成 22 年度事業のまとめについて（報告事項）

事務局（都市計画課 小俣係長、セントラルコンサルタント 沼賀氏）から報告（資料 2, 3, 4, 5）

<意見、質問等>

特になし

- (2) 平成 23 年度事業計画 (案) について (協議事項)
事務局 (都市計画課 小俣係長) から説明 (資料 6)

<意見、質問等>

吉田委員

OD 調査は再編に係る路線のみとのことだが、利用者の変化が顕著な路線も存在する。また、乗り継ぎに関する利用実態を把握する必要もある。

調査を戦略的に実施したらどうか。

⇒乗り継ぎ利用者も減少している傾向にあるため、アンケートの設問を工夫し実態を把握する。(事務局回答)

乗り継ぎ利用者数の計測、ミニバス利用人員の計測はどのように実施しているのか

⇒乗り継ぎ利用者数については、運賃精算時の実数である。

ミニバス利用人員については、ひと月のうちの一週間を計測し、ひと月に換算する。(事務局回答)

<議決>

谷井会長

- ・平成 23 年度事業計画 (案) ついて異議ないか。

《異議なしの声》

- ・平成 23 年度事業計画) (案) について承認した。

- (3) 平成 22 年度補正予算 (案) について (協議事項)
事務局 (都市計画課 多田課長) から説明 (資料 7)

<意見、質問等>

特になし

<議決>

谷井会長

- ・平成 22 年度補正予算 (案) について異議はないか。

《異議なしの声》

- ・平成 22 年度補正予算 (案) について承認した。

- (4) 平成 23 年度予算 (案) について (協議事項)
事務局 (都市計画課 多田課長) から説明 (資料 8)

<意見、質問等>

特になし。

<議決>

谷井会長

- ・平成 23 年度予算（案）について異議ないか。
《異議なしの声》
- ・平成 23 年度予算（案）について承認した。

吉田委員からのご意見

- ・資料-3 の P.3 病院への直行便の存続要望は予想されたことである。そのための乗り継ぎ制度であるが、豊田駅北口での日野台路線への誤乗車は頻発していると考えられる。時間帯によっては、混乱が予想される。また、路線バスの車外アナウンスがテープのみ。アナウンスの徹底や乗り場の変更など検討が必要。
- ・乗り継ぎ制度を分かりやすくするため、乗り継ぎ専用の時刻表などを作成したらどうか。また、豊田駅での乗り継ぎ利用の仕方などを案内し、利便性を PR してみるのもひとつの案である。
- ・川辺堀之内路線実証運行について、利用促進のため、豊田駅南口でのバス停までの案内サインを検討してはどうか。また、豊田駅⇄高幡不動駅間の利用について、この路線が一番早いことも PR してはどうか。
- ・三沢台路線の利用者減少について、原因は特定できているか。
⇒配車の都合により、定時制が確保できていないのではと推測している。
(事務局回答)
ダイヤの遅延であれば、早めの対処が必要である。運行事業者と詳細な検討をする必要がある。

谷井会長より

豊田駅南口での日野台路線への誤乗車、及び三沢台路線の利用者減少について事務局で詳細な調査・検討を実施すること。

荻原委員

三沢台路線沿線の自治会にアンケート調査などを実施したらどうか。

吉田委員

地元自治会やバス停での利用者へのヒアリングは有効である。
旭が丘循環路線については、路線を分割したことにより利用者が減少したと推測できる。

(事務局)

三沢台路線の利用者減少、豊田駅北口での誤乗車について詳細な調査を実施する。事業については、平成 23 年度事業計画に基づき随時実施していく。あわせて、路線再編の評価調査業務委託について、プロポーザル方式による業者選定、書面協議の準備を進める。

ミニバス、ワゴンタクシー各分科会について、必要に応じて、引き続き実施していく。

5. 閉会